

06・【連続絶頂させまくり】クンニでもクリコキでも指ハメでもガチイキさせまくる『女の子が一番気持ちいい』攻めセックス

〈ヘシチュエーション〉

トラック05から数十分後。

主人公と鳴瀬が、鳴瀬の自宅・自室でセックスするトラック。
場所移動はなしで、二人はずっとベッドの上にいる。

プレイ内容は、鳴瀬が全面的に受け身。『クンニくクリトリスいじりく指挿入（手マン）の3つのプレイで、それぞれ複数回絶頂する。』

SE1 主人公が鳴瀬の股間を舐める音

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【▲1 でフェードアウトする】

●正面 30センチ

■自室のベッドに腰掛け、タイツとショーツだけを脱がされてクンニされている。

主人公が目の前にひざまずいて、鳴瀬の股間を舐めている状態。

鳴瀬はすでにかなり気持ちよく、絶頂が近い

「【※赤太文字の絶頂まで※ 喘ぎと呼吸をする。

とてもゆっくり、一行ごとに少し間があく感じで。

喘ぎは、うっとり漏れるような喘ぎと、不規則な強い快感を示す喘ぎ。

呼吸はこらえるような呼吸で、かなり興奮していて荒い】

んっ……♡

あっ……♡

……ふう。ふう。ふう……っ♡

【高く、小さく喘ぐ】

あ♡

ふー……♡ ふー……♡ ふー……っ♡

【びくつと低音・濁音喘ぎする】

……あ♡あ♡

ふーっ……♡ ふーっ……♡

【※ひときわ気持ちよさそうに※ 濁音喘ぎする。

※この辺りから、絶頂が近づいているのがわかりやすくなっていく感じをお願いします】

♡あ♡

んっ♡ んっふ……あ♡

はあ、はあ。んっ……♡ んうっふ……んっ♡

あ♡

はあ、はあ、あっ……♡

あ。あっ♡

【※赤の太字部分で絶頂する※

濁音喘ぎでびくっと、小さく喘いで絶頂する。

比較的控えめな、でも、ものすごく気持ちよさそうに絶頂する】

♡あ♡

あっ。あっ。

♡あ♡あ♡あ……♡

っ♡あ♡

▲1 ここでSE1がフェードアウトする。

●正面 30センチ

「【※12回※ 呼吸する。

かなり早く、荒い呼吸。いかにも『絶頂したて』という感じの呼吸。

だんだん、少しずつゆっくりになっていく」

はーすう、はーすう、はーすう……♡

はーすう、はーすう、はー……っ♡

主人公が立ち上がって近づいた事で、距離が近づく。

SE2 主人公が近づく音

【最初から最後まで流す】

●正面 0センチ

■ベッドに腰掛けた状態で、立ち上がった主人公にキスされる。

主人公が舐めていた鳴瀬の愛液を舐めさせられるような濃いキス

「【※しばらく※ 唇にキスする。

受け身で、かなり濃厚なディープキス。少し苦しそうではあるが気持ちよさそうな感じ】

ん♡ ちゅ♡ れぶぶぶ、ちゅ♡

ちゅ、ちゅ、ちゅ。 ちゅぶぶぶ、ちゅっ♡

れる……ちゅっ♡ ちゅぶぶぶ、ちゅぼっ♡

んー♡ んんんんう♡ んー♡

ちゅぷぷぷつ、ちゅうつ♡
んーんっ♡ んーんう♡ んー…♡
んっふ、ちゅぼっ♡」

二人、キスが一度終わって、少し離れる。

SE3 鳴瀬が少し離れる音

【最初から最後まで流す】

【だんだん遠ざかる】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

●正面 15センチ

■少し離れて、主人公を見上げながら

「※4回※ 呼吸する。

早く、荒い呼吸。だんだん、少しずつゆっくりになっていく

はあ、はあ、はあ…♡

はー…♡

【まだ少し苦しそうだが、にやにやと嬉しそうに。

自室につくなり、主人公に濃厚なえっちをされたので。『ちたかった!! したかった!』

凄いえっちなキスだあ……♡

なくに? ♡

学校で禁止だったからちたかったの? ♡

可愛いねえ……♡

おいで? ♡

SE 4 鳴瀬が少し離れる音

【最初から最後まで流す】

【だんだん遠ざかる】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

再び距離が近づく。

● 正面 0センチ

■ ベッドに腰掛けた状態で、立ち上がった主人公にキスされる。

キスの後は、見上げた状態で再び会話したり、またキスしたりする。
会話では、現在に至るまでの経緯を語る

【※4回※ キスする。音が出る濃厚なキス】

ん……♡ ちゅっ♡ ちゅぶぶ♡ ちゅっ♡

【※3回※ 呼吸する。

少し苦しそだが、先程よりもだいぶ落ち着いている】

はあ、はあ、はああっ……♡

【まだ少し苦しそだが、にやにやと嬉しそうに。

主人公のしたい事を見抜いてからかう。『すっごい舐めてた〓熱心にクンニしてた』。

『部分』は、主人公の心情を推測したもの】

てかさあ……♡ すっごい舐めてたね……♡

もしかして。学校出た時からずっと♡

『なる先輩んち着いたら、おまんこ舐めるぞく♡』って思ってたの？♡

可愛いねく♡

部屋入ったらさあ、すぐ甘えて抱きついて来て。

タイツさわさわく♡ ってしてさ♡

『早くえっちしたくてしょうがない』って感じだったもんね♡

よちよち、よちよち、いい子いい子♡

【少し間をあけてから、気づいた感じで。

さらににやにやと嬉しそうに、あまあまに。『おつゆ〓愛液』】

……あー、わかった♡ 着くまでずっと♡
なるのおつゆの味想像しながら歩いてたんでしょ？♡
だからすぐ舐め舐めしたくなっっちゃってたんでしょ♡」

〈主人公〉

「……♡」

● 正面 0センチ

「きゃっきゃと嬉しそうに。主人公の表情からして、自分の指摘が正しかったようなので。

『エロだね♡エロいね』

ふふ……やっぱそうなんだ♡ エロだね♡

可愛い。大好きだよ♡

【※3回※】 キスする。

軽く触れるだけのキス」

ちゅ♡ ちゅっ♡ ちゅ♡

【あまあまにうっとり。『本当に可愛くて仕方ない』という感じで】

はあ……ほんと大好き。可愛すぎるんだけど……♡

【※3回※】 キスする。

軽く触れるだけのキス」

んっ……♡　ちゅ♡　ちゅっ♡　

〈主人公〉

「……先輩♡」

● 正面　0センチ

■ 腰を抱かれて、ベッドの上に膝で立つようにと促される

「【少し驚きつつ、あまあまに期待した感じで】

……あ♡

【媚び媚びの甘えた声で】

うん。膝で立つの……？♡

【きやつきやと嬉しそうに。

主人公の表情からして、自分の予想が正しいと確信しているので。『ちたい♡したい』

あ♡♡　クリいじりちたいのか♡

【掠れ気味の声で、特に甘ったるく】

いいよ……？♡

一杯さすって？♡」

鳴瀬、膝立ちの姿勢になる。

SE5 鳴瀬が膝立ちになる音

【最初から最後まで流す】

SE6 鳴瀬が自分のスカートをめくる音

【最初から最後まで流す】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

●左 0センチ 無声音ささやき

■膝立ちになった後、目線を合わせようと近づいた主人公に耳打ちする

「【※マークまでささやく。】

ひそひそと、あまあまに」

……ほら♥

さつきみたいに両手でスカート持って。めくるからさ♥

お手で気持ち良くして……？♥ ※

【※1回※ キスする。】

軽く触れるだけのキス」

ちゅ♡」

主人公、愛撫するために、頭を移動する。位置が反対になる。

SE7 主人公が鳴瀬の股間を愛撫する音

【最初から最後まで流す】

【繰り返し流す】

【小さな音量で流す】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

▲2 で音量が一段階大きくなる】

▲3 で音量と速度が一段階大きく、早くなる】

▲4 でさらに音量と速度が一段階大きく、早くなる】

▲5 で一度フェードアウトする】

▲6 で再開する】

▲7 でフェードアウトする】

● 右 0センチ

■頭位置が反対になる。膝立ちになった状態でクリトリスを愛撫されている。

主人公の左手で背中を抱き寄せられて、右手で愛撫されている。

主人公の頭が自分の頭のすぐ隣にあり、自然と右耳に話しかける状態になる

「【※しばらく※ 喘ぎと呼吸をする。】

喘ぎも呼吸もまだ比較的余裕があって、静かだが、気持ちよさそうな感じで

……あ。

はあ、はあ……ふう。ふーっ……♡

はーっ……ふう。はーっ……ふう……あ♡

あ……あっ。あ♡

はあ、はあ。

はあ、はあ……♡

……ん。んう……♡ んっふ……♡

あ♡

【気持ちよさそうにしつつ、甘々に嬉しそうにからかう。『なるまんこ』鳴瀬の性器】

あく……わかったあ……♡

さつき。保健室でこれしたかったんだな？♡

ベッドの上に膝立（だ）ちにさせて♡

なるまんこいじるのしたかったんでしょ♡

【小さく、びくつと喘ぐ】

あ♥

【※セリフ終わりまで※ 喘ぎと呼吸がメインで時折何とか言葉を絞り出す。

喘ぎも呼吸も、先ほどより余裕がない。

かなりゆっくり目なのは変わらない。

だが、より甘ったるくなったり、荒かったり、ますます気持ちよさそうな感じで

ふう、ふう。ふー……っ♥

はあ、はあ、はあ。

あ♥ あ♥ あ♥

【照れ笑いで】

へへ……君の指使（づか）いエロ過ぎて、腰動いちやう……あ♥

【特にゆっくりと息を吐く】

はー……♥

はあ、はあ、はあ。

【うっとり、実感を込めて】

気持ちいい……♥「

▲2 ここでSE7の音量が一段階大きくなる

● 正面 0センチ

「はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあっ ♡

【うっとり、実感を込めて】

ほんとさあ……えっち上手いよね…… ♡

ずっと気持ちいところ当たってる…… ♡

はー…… ♡ はー…… ♡ はー…… ♡

はあ、はあ。 あ ♡

【照れ笑いして。自分の性器を愛撫する音について言っている】

音やばいね…… ♡

【ちよつと恨めしそうに】

ねえ。わざと立ててるでしょ…… ♡

〈主人公〉

「立ててませんよ…… ♡」

鳴瀬、主人公の言葉を受けて、主人公の方を向く。

●正面 0センチ

■膝立ちになった状態でクリトリスを愛撫されながら、主人公の方を見る。自分の性器がたっぷり濡れている事を、主人公のせいにしようとする

「甘々媚び媚びにかわいく。『恥ずかしい気持ちさせる』恥ずかしい気持ちにさせる」

嘘♥ 絶対うゝそ♥

わざと音聞かせて♥

恥ずかしい気持ちさせようとしてんでしょ♥

〈主人公〉

「立ててませんってば♥」

●正面 0センチ

「甘々媚び媚びにかわいく」

えく………?♥

嘘だああ………♥

【高く、びくっと喘ぐ】

あ♥

普通に擦ってるだけで♥ こんな音出ちゃうの？♥

【小さく、漏れるように喘ぐ。『エロじゃんⅡエロい人間じゃん』】

あ……♥

そしたらなる……超エロじゃん……♥「

鳴瀬、こらえきれなくなって、頭を元の位置に戻す。

▲3 ここでSE7の音量と速度が一段階大きく、早くなる。

●右 0センチ

■膝立ちになった状態でクリトリスを愛撫されている。

主人公の左手で背中を抱き寄せられて、右手で愛撫されている。

主人公の頭が自分の頭のすぐ隣にあり、自然と右耳に話しかける状態になる

「【※セリフ終わりまで※ 喘ぎと呼吸交じりに、なんとか言葉を絞り出す。

すでに気持ちよさに思考を奪われて行っている感じで。

ゆっくり目なのは変わらない。だが、さらに甘ったるくなったり、荒かったり、ますます気持ちよさそうな感じで。さらに、濁音喘ぎも混じり始める」

はっ♥ あ♥ あ♥ あっ♥

【特にうっとり】

あゝ……♡

【ものすごく気持ちよさそうに。『こ、し||腰』】

これ気持ちいい……♡ これ好き……♡

こ、し、動いちゃう。気持ち……♡

♡あ♡

あ♡

♡あ……♡

はーふう、はーふう。はーふう、はーふう♡

あ……♡ あっ♡

♡あ……♡ あ♡

【ものすごく気持ちよさそうに】

めっちゃ気持ちいい……♡

はあ、はあ。はあ……♡

ねえ……指でクリ擦られていくのって、あ。はああっ……♡

やばい、よね……♡

君は指動かしてるだけなのに♡

一人で気持ち良くっ、なっちゃうとかっ……♡

やばすぎ……あ♡

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ……”あ♡

”あゝぎもちいい……♡

あ♡ あ♡

”あゝ……♡

気持ちいいよう……♡
”

鳴瀬、主人公に顔を寄せられる。顔の向きが変わる。

●正面 0センチ

■膝立ちになった状態でクリトリスを愛撫されながら、キスされる

「【少し驚いて。顔を寄せられたので】

あ♡

【※しばらく※ 唇にキスする。

受け身の、少し苦しそうで、でも気持ちよさそうな、濃厚なデ IPPキス】

んっ♡ んっ♡ んっ♡ んっ♡

ちゅ♡ んっ♡ んっ♡ んっ♡

んー♡

ちゆるっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡

【※8回※ 呼吸する。 苦しそうだが、うっとりとした気持ちよさそうな呼吸】

はーふう、はーふう、はーふう、はーふう、はーふうっ……♡

〈主人公〉

「なる先輩……すっごい腰動いちゃってますね……♡」

● 正面 0センチ

■ 返事をしているはずが、会話が成立していない。あまりにも気持ちよすぎるので。

もう、快感のあまり、自分が何を言っているのかわからなくなってきた

「媚び媚び甘々に、気持ちよさそうにならず。『気持ちいい♡気持ちいい』」

うん♡ うんっ♡

ちゃんと腰振る♡

クリの気持ちいいとこ当たるように♡ ちゃんと腰振る♡

▲ 4 ここでSE7の音量と速度がさらにもう一段階大きく、早くなる。

●正面 0センチ

「高くびくつとした喘ぎ」

あ♡

【気持ちよさそうな低い喘ぎ】

♡あ♡♡あ♡

■もう理性はなく、気持ちよさに身を委ねている感じ

【※セリフ終わりまで※ 喘ぎと呼吸ばかりになり、時折なんとか言葉を絞り出す。

『感じてりゅ||感じてる』『ここ||クリトリスの中でも、触られると、特に感じる所、角度』『ここし||ここって||ここ、||ここし||こ(擬音)って』『ちゅき||好き』】

♡あ||…||…気持ちいい||…||…気持ちいい||…||…♡

気持ちいいよ||…||…♡

君にクリいじめされて♡ 一杯感じてりゅ||…||…♡

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、は||…||…♡

♡あ。♡あ♡♡あ♡あ||…||…♡

あ||…||…♡

ここ好き♡♡ ここ気持ちいいの||…||…♡

ここお♡♡ ここなの||…||…♡

ここ擦って♡

ここしこしこって擦ってっ♡」

鳴瀬、こらえきれなくなって、頭を元の位置に戻す。

● 右 0センチ

■セックスが絶頂に近づく。動きが早くなり、喘ぎや呼吸も早くなる。セリフの後半で絶頂する

【※セリフ終わりまで※ 喘ぎと呼吸ばかりになり、時折なんとか言葉を絞り出す。

※この辺りから、特に気持ちよくて、ますます理性を失っていく※】

あー♡ あ♡ あ♡

あー……っ♡

ああ……ああ……っ♡

あー……っ♡ いい……っ♡ いいよお……♡

一杯気持ちいいの……♡

はっ♡ はっ♡ はっ♡ はーっ、はーっ♡

はあっ♡

【※この辺りから、絶頂が近づいているのがわかりやすくなっていく感じをお願いします】

あ♡ あゝ……♡

これ♡ これ好き♡ これ気持ちいいの……♡

これ♡ これいい♡ ここ当たるのちゆきなのお……♡

【※12回※ 呼吸する。

絶頂するのをこらえるような、ものすごく気持ちよさそうな呼吸

はーふうっ、はーふう、はーふうっ♡

はーふう、はーふう、はーふうっ♡

【少し早く、あまあまに。

次で絶頂する】

あ♡ あ♡ あ♡

【びくつと、降参したように低くなる】

”あ♡

ああ……♡

【※赤の太字部分で絶頂する※

濁音喘ぎでびくつと、小さく喘いで絶頂する。

比較的控えめな、でも、ものすごく気持ちよさそうに絶頂する】

”あ……♡

■絶頂して、愛撫が少しゆるむ

【※6回※ 呼吸する。

かなり早く、荒い呼吸。いかにも『絶頂したて』という感じの呼吸】
はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあっ ♡

【うっとりと低く喘ぐ】

あー……♡

【うっとり。絶頂した事への満足感を述べる】

これ ♡ これ ♡ これえ……♡

これ好きいい……♡

いい……♡ いい……♡ いいのお……♡

ほんと気持ちいいの……♡

【※3回※ 呼吸する。

かなり早く、荒い呼吸。いかにも『絶頂したて』という感じの呼吸】
はー、はー、はー。

■絶頂するが、愛撫が少しゆるんだ程度で、完全にやまない。

しかしそれを不思議に思ったり、止めようとしたりする前に、再び愛撫が再開されて、
また気持ちよくなる

【少しびくっとして。また愛撫が再開されたので】

あっ？♡

【うっとりとして低く喘ぐ】

〃あ……♡

【うっとりとして幸せそうに。もうすぐ、唐突に絶頂する】

気持ちいいよう。気持ち良すぎて一生出来ちゃう……♡

あっ♡ あっ♡

【※赤の太字部分で絶頂する※

濁音喘ぎでびくっと、事故のようにあっさり絶頂する】

っ〃あっ……！！♡

【うっとりとして低く喘ぐ】

あー……♡「

▲5 ここでSE7が一度フェードアウトする。

鳴瀬、主人公に顔を寄せられる。顔の向きが変わる。

●正面 0センチ

■膝立ちになった状態でクリトリスを愛撫されながら、キスされる

【※しばらく※ 唇にキスする。

受け身の、先ほどよりもさらに苦しそうで、でも気持ちよさそうな、濃厚なデイープキス】

んっ♡ んー♡ んんんんう、んっ♡」

▲6 ここでSE7が再開する。

●正面 0センチ

「【※3回※ 呼吸する。

かなり早く、荒い呼吸。いかにも『絶頂したて』という感じの呼吸】
はーすう、はーすう、はーすう♡」

〈主人公〉

「またいきそうですか……？♡」

●正面 0センチ

■膝立ちになった状態でクリトリスを愛撫されながら、またいきそう

「【あまあまに、素直に頷く。『これ〓クリトリスへの愛撫』】

うん♡ イク♡

またイク♡

これされて♡ 君でまた一杯イク♡

【※しばらく※ 唇にキスする。

受け身の、先ほどよりもさらに苦しそうで、でも気持ちよさそうな、濃厚なディープキス】

ん♡ んん♡ ちゅっばあ……ちゅふっ、ちゅるっ♡
じゅるるるっ……ぷちゅうっ♡

【びくっと低く喘ぐ】

っ♡

【高く小さく喘ぐ。

もうすぐ、また唐突に絶頂する】

あっ♡

あ。ああー……っ♡

あー♡

【※赤の太字部分で絶頂する※

濁音喘ぎでびくっと、事故のようにあっさり絶頂する】

っっ♡ あっ……っ！♡

● 正面 0センチ

■ 膝立ちになった状態で3回も絶頂して、放心状態。

主人公に支えてもらって何とか膝立ちを続けている

「【※19回※】 呼吸する。

かなり早く、荒い呼吸。いかにも『絶頂したて』という感じの呼吸。

だんだんゆっくりになって、落ち着いて行く」

はー、はー、はー。

はーすう、はーすう、はーすう、はーすう。

はーすうっ、はーすうっ、はーすうっ、はーすうっ ♡

▲ 7 ここでSE7がフェードアウトする

SE8 鳴瀬がベッドで動く音

【最初から最後まで流す】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

● 正面 0センチ

「うっとり幸せそうに。

気持ちよすぎて、頭がぼーっとしている感じで」

ああ……すっごい気持ち良かったあ……♡

君えっちうますぎだからあ……♡

【※しばらく※ 唇にキスする。

ラブラブあまあまな、濃厚だが比較的落ち着いたデープキス】

れふふ……れっ♡ れるれる♡ れるれる♡ れりゅれりゅ♡

ちゅっ♡

【※8回※ 呼吸する。

かなり早く、荒い呼吸。いかにも『絶頂したて』という感じの呼吸】

はーふう、はーふう、はーふう、はーふう♡

【あまあまに、嬉しそうに。その位気持ちよく幸福なセックスだったので】

もうさ♡

なる幸せにする天才だね♡

【※6回※ 唇にキスする。

ラブラブあまあまな、濃厚だが比較的落ち着いたデープキス】

ん♡ あ♡ んっ♡

ちゅ。ちゅっ。ちゅふっ♡

「

〈主人公〉

「まだです……♡ もっと、しましよ……？♡」

SE9 主人公がベッドで動く音

〔最初から最後まで流す〕

〔次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す〕

〔0—1秒ほど流してから、SE9とも重ねて流す〕

SE10 主人公が鳴瀬の股間を愛撫する音2

〔最初から最後まで流す〕

〔繰り返し流す〕

〔小さめの音量で流す〕

〔▲8 でフェードアウトする〕

●正面 0センチ

■いったんセックスは終わりだと思っていたところに『まだセックスしよう』と提案されて。

少し驚きつつも、積極的に、媚び媚び甘々に応える

「【少し驚いて】

っあ……？? ♡

【媚び媚び甘々にたずねる。

『なりゆゝなる』『いくいくになっちゃうゝまだ絶頂を繰り返す』」

あ…… ♡ まだなの……？? ♡

なるもつと幸せになりゆの？

もつといくいくになっちゃうの……？? ♡

〈主人公〉

「そうですよ…… ♡ もつと先輩の気持ちいいところ、見たいです…… ♡

● 正面 0センチ

■ 早速再び触られ始める。

最初はまたクリトリスいじりかと思うが、主人公の指が膣内に入っていくので一瞬驚く。だが、すぐに受け入れて手マンで気持ちよくなる

「【少し驚いて】

……あ ♡

【小さく、高く喘ぐ】

あ♥

【小さく、低く濁音喘ぎする】

“あ…:…♥

【※8回※ 呼吸する。

かなり早く、荒い呼吸。いかにも『絶頂したて』という感じの呼吸
はーすう、はーすうっ、はーすうっ、はーすうっ、はーすうっ♥
」

▲8 ここでSE10がフェードアウトする。

SE11 主人公が鳴瀬の股間を愛撫する音3

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【小さめの音量で流す】

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【小さめの音量で流す】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

〔▲9 で音量と速度が一段階大きく、早くなる〕

〔▲10 でさらに音量と速度が一段階大きく、早くなる〕

〔▲11 でフェードアウトする〕

● 正面 0センチ

〔※ここで指を挿入される※
低く、うっとりと低音喘ぎ〕

“あゝ……♡

〔うっとりと気持ちよさそうに、少しだけ苦しそうに〕
すご……♡ 中、入（はい）られっ、ちゃったあ……♡

〔少し驚いて〕

あ♡

〔※6回※ 唇にキスする。濃厚、あまあまなディープキス〕

んっ♡ んうう……♡ ちゅぶっ♡

ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡

〔うっとり気持ちよさそうに、少しだけ苦しそうに。『きてりゅー来てる』〕

君のお指♡ 入ってきてりゅ……♡

〔小さく、高く喘ぐ〕

あ♡

【小さく、低く濁音喘ぎする】

あ♡ んっ♡

【小さく、高く喘ぐ】

あー……♡

主人公と鳴瀬、うまく体を動かすために少しだけ離れる。

● 正面 15センチ

■ あまあまな、ゆっくりとした手マンをされる。

鳴瀬が一番好きで楽で気持ちいいペース。

鳴瀬は長くこれをしていきたいので、快感を堪能しつつ、たやすくイかないようにと、快感をこらえようと頑張っているような呼吸。

『奥まで来てる』とは言うが、実際はよくわかっていないし『どこかはわからないがすごく気持ちいいところ』奥』という認識である。鳴瀬は主人公以外の性経験がない
「【※12回※ 呼吸する。ものすごく気持ちよさそうな呼吸。

ゆっくりめに、一定のペースで」

はー、すう、はー。

はし、すう、はし ♡

はし、ふし、はし ♡

はし、ふし、はし ♡

【あまあまに、うっとりと尋ねる。ものすごく気持ちいいので。『奥Ⅱ腔の奥』
ねえ……指長いよね……？ ♡

めつちや奥まで来てる氣いするう…… ♡

【※5回※ 呼吸する。ものすごく気持ちよさそうな呼吸。

先程よりも少し早く、一定のペースで】

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ。

【びくつと、低く濁音喘ぎする】

“あ ♡

【※しばらく※ 濁音喘ぎメインで、気持ちよさそうに小さく喘ぐ。
どんだんきもちよさそうになる】

……あああつ……あ ♡

“あ。

“あつ、”あつ、”あ ♡

“あつ ♡

「あっ♡ あ♡ ああ……♡」

〈主人公〉

「えく……？♡ 普通ですよ……？♡」

● 正面 15センチ

■ 主人公と会話しようとはするが、気持ちよすぎてうまくいかない。
どんどん喘ぎと呼吸ばかりになっていく

「【うっとり）と気持ちよさそうに。

※セリフ終わりまで※ どんどん喘ぎ交じりになっていく。
全体的にゆっくり目に。一行ごとに少し間があく感じで。

喘ぎは濁音喘ぎ以外は全体的に高めに」

ええ……？ じゃあ、なるのおまんこがちっちゃいの……？♡

あ♡

だって。あ。

いつもっ♡ お腹の中あ♡ 凄いくりぐりされちやってる気いするよ……？♡

あ♡

あっ。あっ♡ あっ♡ あ♡ あ♡

はあ、はあ、はあ。はあ、はあ、はあ。

【特にびくつと、高く喘ぐ】

あ

あっ

【特にびくつと、低く濁音喘ぎ】

あっ

■ここからどんどん、甘えた感じになっていく

【とびきり甘々媚び媚びに。

めちやくちやに甘えた声で。

『犯されてる感やばい』体の内側を主人公の好きにされているような感覚で一杯』。

『押されたら』ぐつと押し込むように指を挿入されたら』

ほらあ……♡ ゆっくりなのにつ♡

犯されてる感やばいもん……♡

▲9 ここでSE11の音量と速度が一段階大きく、早くなる。

●正面 15センチ

「あ♡ あ、あ♡ あっ♡

〃あっ……♡

押されたら絶対声出るし♡ 気持ち良すぎてやばいもん……♡

あっ♡ あ♡

あっ……あ♡

ああ……♡

【うっとりとして夢見心地で。とにかく気持ちよさそうに。

『とんとん〓奥と思われる場所まで指が触れる』

はあ……ゆっくり好き……♡

ゆっくりとんとんされるの♡ 夢みたい気持ちいい……♡

やばい……ほんとやばい……♡

【※5回※ 喘ぎ交じりに呼吸する。ものすごく気持ちよさそうな呼吸。

先程よりも少し早く、一定のペースで】

はー、はー、はー。

はー、はー、ああ♡

【少し早口で、うっとりとして夢見心地で。

気持ちよすぎて理性を失っている感じで。

『ぬぽぬぽ〓自分にとって最適なペースの出し入れ』『ぬぽハメ〓理想的な手マン』

これいい♡ ゆっくりえっち好き♡ 奥までゆっくりぬぽぬぽ好き♡

ぬぼハメ好きい……♡

【※6回※ 呼吸する。ものすごく気持ちよさそうな呼吸。

だんだん少し早くなる。

※この辺りから、絶頂が近づいているのがわかりやすくなっていく感じでお願ひします】

はー、はー、はー。

はーっ、はーっ、はー♡

【ゆっくりと長く、低く濁音喘ぎ。

特にもものすごく気持ちいい】

“あ……♡”

鳴瀬、のけぞり、距離が少し離れる。

●正面 30センチ

■セックスが絶頂に近づくと絶頂する。膝立ちになっていられず、片手を枕につく。

その結果、スカートは持っていられなくなり、下半身は隠れる

「【余裕なさそうに、少し早口に、喘ぎ交じりに】

駄目だこれ、手えついちゃう、あ♡

【※5回※ 呼吸する。ものすごく気持ちよさそうな呼吸】

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、

ああ……♡

【とびきり甘々媚び媚びに。

めちやくちやに甘えた声で尋ねる。『うまい!!セックスがうまい!!』

ねくえっ♡ 何(なん)で? 何(なん)でこんなうまいの?♡

入れているとわかんのか?

ここ気持ち良さそうとか、ここほじったらおまんこ締まるとか、ハメながらわかんのか?

♡
」

▲10 ここでSE11の音量と速度がさらに一段階大きく、早くなる。

●正面 30センチ

【※6回※ 呼吸する。ものすごく気持ちよさそうな呼吸。

だんだん少し早くなる】

はー、はー、はー。

はーっ、はーっ、はー♡

【※6回※ 少し早めに喘ぐ。

もうすぐ絶頂する」

あっ♡ あ♡ あ♡

あ♡ あっ♡ あ♡

【※赤の太字部分で絶頂する※】

1 回目は話している途中で事故のようにびくっと、濁音喘ぎで絶頂する。

2 回目は、呼吸を整える間もなく、高めの声で絶頂する」

ねえもおいくっ……もおイ……っあっ！♡

はあはあ……あ♡

っあ♡ っあ♡

っあ っあ っあ っあ……あ！♡」

▲ 1 1 ここで S E 1 1 がフェードアウトする。

S E 1 2 主人公と鳴瀬がベッドで動く音

【最初から最後まで流す】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

● 正面 30センチ

【※8回※ 呼吸する。

かなり早く、荒い呼吸。いかにも『絶頂したて』という感じの呼吸。
だんだん、少しずつゆっくりになっていく】

はーひゅうつ、はーひゅうつ、はーひゅうつ、はーひゅうつ ♡

〈主人公〉

「……………♡」

鳴瀬、主人公に引き寄せられて距離が近づく。

●正面 0センチ

■身体を引き寄せられてキスする

【※6回※ 唇にキスする。ちゅぽちゅぽ音を立てるラブラブあまあまなキス】

んっ…………ふちゅっ ♡ ちゅばあ…………れれれっ ♡

んっふ…………ちゅぶ ♡

【※2回※ 呼吸する。

早く荒く、でもうっとりとした呼吸】

はあ、はあ…………♡

〈主人公〉

「……いっぱいイきましたね……♡ すっごい可愛かったです……♡」

● 正面 0センチ

■ものすごく気持ちよかった事を素直に認め、媚び媚びに甘えながらキスする

「とびきり甘々媚び媚びに。」

めちやくちやに甘えた声で答える。『ぬこぬこ||膣への指の出し入れ』

うん♡ イった♡

一杯イった♡ 幸せぬこぬこで一杯イった♡

【※4回※ 唇にキスする。

ちゅぽちゅぽ音を立てるラブラブあまあまなキス】

んんう……♡ ちゅ♡ ちゅ……ちゅっ♡

■主人公が指を抜こうとしているのに気づいて。『まだ抜かないでほしい』とおねだりする

【とびきり甘々媚び媚びに。

めちやくちやに甘えた声で抗議する。『ハメてて||指を膣に挿入したままでいて』

あだめ♡ まだ駄目♡ まだハメて♡

ちやんとまだ♡ 奥まで入れて♡

イきたてなるおまんこ、ちゃんと感じてて♥

【※4回※ 唇にキスする。

ちゅぽちゅぽ音を立てるラブラブあまあまなキス】

あんふ……ちゅ♥ ちゅぱぱ……ふちゅっ♥「

〈主人公〉

「……え……？♥ ああ、先輩の中……まだ、締め付けてくるような気がします……♥

● 正面 0センチ

■ 指を挿入されたまま、あまあまに会話したりキスする

「「にやにやと嬉しそうに。

『ぎちぎちⅡ締め付ける』『帰ってほしくないⅡ指を抜いてほしくない』

え……？♥ ぎちぎちしてる？♥

そうだよ……？♥

なるまんこは♥ 君のお指大好きすぎて♥ 帰って欲しくないの♥

【※3回※ 唇にキスする。

軽いが、ラブラブあまあまなキス】

あん……ちゅ、ちゅふっ♥

【うっとりとしため息をつきながら、満足げに】

はく気持ちよかったあ……♡

【※1回※ 唇にキスする。

軽いが、ラブラブあまあまなキス】

ちゅぶ♡

【うっとり、あまあまに】

……一杯犯してくれてありがと♡

【※1回※ 唇にキスする。

軽いが、ラブラブあまあまなキス】

ちゅ♡

ここでフェードアウトして終了。